

平成25年行政事業レビューシート

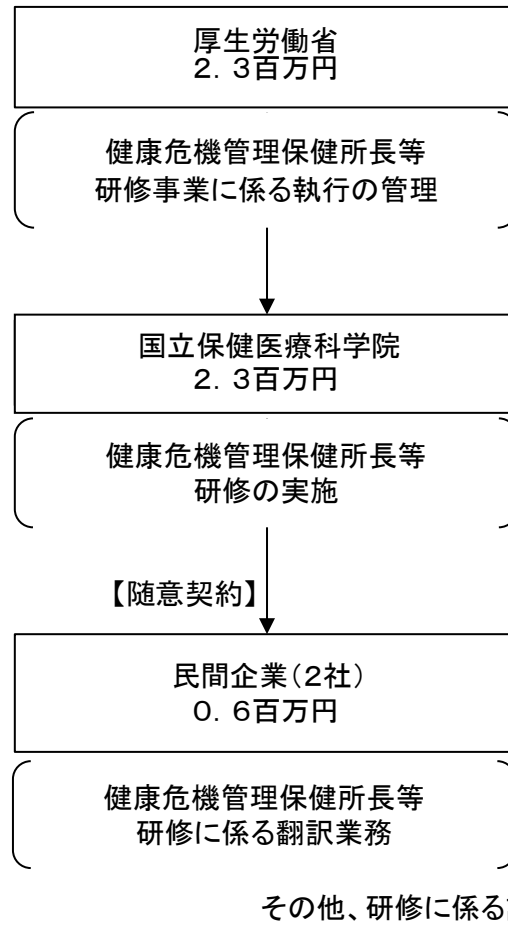
(厚生労働省)

事業名	健康危機管理体制整備推進費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成5年度		担当課室	がん対策・健康増進課地域保健室		地域保健室長 政田 敏裕		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-11-1 健康危機が発生した際に迅速かつ適切に対応するための体制を整備すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	多様化する健康危機事例に対応するため、健康危機管理に関する研修の実施などにより、地域における健康危機管理対策の基盤の整備を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	多様化する健康危機事例に的確に対応するため、保健所長及び保健所の管理職員等を対象として、実際の健康危機事例発生時の対応に関する演習、健康危機発生時の情報収集や組織の管理・調整の手法等必要な知識の取得を内容とした研修を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	5	4	4	4	4	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	5	4	4	4	4	
		執行額	1.4	3.5	2.3			
	執行率(%)	22	87.5	57.5				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	健康危機管理保健所長等研修において健康危機管理について理解が高まったと回答した受講者の割合		成果実績	%	71	68	93.6	対前年度以上
			達成度	%	100	95.8	100	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	健康危機管理保健所長等研修の受講出席率		活動実績(当初見込み)	%	89	97.1	89.7	-
					( - )	( - )	( - )	
単位当たりコスト	32,812(円/成果実績)		算出根拠	平成24年執行額/健康危機管理保健所長等の研修の受講者数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.2	0.2					
	職員旅費	0.5	0.5					
	委員等旅費	0.2	0.2					
	庁費	3.4	3.4					
	計	4.3	4.3					

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費 必要 投入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	実際の健康危機事例発生時の対応に関する演習、必要な知識等を取得することにより今後の健康危機管理事例発生時により、迅速かつ適切な対応が図られる。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	健康危機管理事例は地域のみでなく広域的な発生を見込まれることから、国として実施する必要がある。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	実際の健康危機事例発生時の対応に関する演習、必要な知識等の取得を内容とした研修は今後の災害に備えた優先度の高い事業である。	
事業 の 効率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○	研修に係る謝金、旅費、消耗品等の支出の抑制等によりコストの削減に努めており、妥当な水準である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	本経費の主なものは、研修に係る経費である。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	災害対策法制の改正等が見込まれている中、必要な技術的支援を見送ったため。	
事業 の有 効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-	-	
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点 検 結 果	東日本大震災のような大規模な災害や多様化する健康危機事例に対応するため、健康危機管理に関する研修の実施などにより、地域における健康危機管理対策の基盤の整備が図られる。また、24年度は各点検項目において妥当であり、成果実績も達成されているため、適切に執行されており、今後も引き続き推進すべきと判断。					
	外部有識者の所見					
執行率が低い状況ではあるが、健康危機管理発生時に対応するための事業であることから、引き続き適正執行に努めること。(長崎、井出)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	本事業については、恒常的に不用が生じている状況であるが、健康危機管理発生時に迅速かつ適切に対応できるよう基盤を整備するための事業であることから、事業内容及び予算規模を維持する必要があり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	322	平成23年	0292	平成24年	0252

平成24年度

健康危機管理保健所長等研修事業



その他、研修に係る諸謝金、旅費、消耗品費

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			E.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	計			0	計		
B.			F.				
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
計			0	計			0
C.			G.				
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
計			0	計			0
D.			H.				
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
計			0	計			0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エヌ・エイ・アイ(株)	翻訳業務	0.4	随意契約	
2	(株)翻訳センター	翻訳業務	0.2	随意契約	